

H25年度 第2回高知市地域アクションプランフォローアップ会議の概要

日時：平成26年2月10日（月）13:00～15:30

場所：高知県工業技術センター2階 研修室

1 議事等

（1）地域アクションプランについて

1）高知市地域アクションプランの進捗状況等について

- ・第3四半期までの進捗状況について説明
- 2）平成26年度高知市地域アクションプラン（案）について
 - ・修正7件を含む地域アクションプラン（案）について説明
 - ・案について了承された

（2）産業振興計画の改定等について

- 1）第2期産業振興計画（Ver.3）の改定のポイントについて説明
- 2）平成26年度移住促進策のバージョンアップについて説明
- 3）平成26年度観光振興部の取組について説明

【意見交換】

<高知市地域アクションプランの進捗状況等について>

- ・食品関係では、魚や四方竹について、ホテル・外食などの業務筋へのルートに期待ができる。
- ・農業関連では、夏場の高温・干ばつに加え、鳥獣被害も多発し、四方竹の収量が目標を下回った。
- ・キュウリは順調だったが、後継者対策と病害虫対策が今後の課題。
- ・ユズは、収量確保のための若木への転換が徐々に進んでいる。
- ・漁業は厳しい状況。高知新港建設に伴い、浦戸湾内における魚類の保育、ほ場の機能が落ちている。
- ・木材消費は非常に好調だが、公共施設・個人住宅への木材利用を一層進めることが必要。
- ・林家の高齢化に伴い、土地境界がわからなくなっているのが一番の問題。
- ・作業道の整備を進めれば、現状で山に捨てている材木も、火力発電に活用できる。
- ・よさこい祭りに参加するチーム・踊り子にとって誇りを感じてもらうことが重要。
- ・よさこい祭りは観光資源としての見方が強いが、衣装製作などの産業面や、子どもが地域に誇りを抱くための「よさ育」といった観点も重要。

<平成 26 年度高知市地域アクションプラン（案）について>

- ・観光面では、龍馬生誕 180 年や四国八十八カ所の開創 1200 年という区切りを踏まえたイベントを企画し、移住・定住のプロモーションともあわせて売り込んでいくように。
- ・機械工業団地の小規模事業者が連携する取り組みなど、工業分野・ものづくり系の案件も地域アクションプランに位置付けてはどうか。
→産業振興計画の産業成長戦略としての位置付けもあるが、地域との結びつきの中で牽引車となるような取り組みは地域アクションプランとしてご支援したい。

<産業振興計画の改定等について>

- ・観光について、旅行代理店など来てくれる人の視点を大事にすることが重要。海外からの観光においても、台湾・韓国の観光局の方に滞在してもらい、高知の資源を探り、情報発信してもらう取り組みはどうか。
- ・移住に関しても同様で、1 カ月なり滞在してもらい、その人の視点で情報発信してもらえるような仕組みが必要。
→観光に関しては、外国の方にモニターツアーに来ていただき、高知は素材としてどう評価されるかを見る事業も予定している。じっくり高知を見てもらえる期間をとってもらえるようなことも考えていきたい。
- ・高知への移住を考えている方に向けて、お試し滞在期間中により多くの仕事体験ができるようにすれば有効。
→地域において潜在する人材ニーズの掘り起こしにも取り組み、幸せ移住パッケージシステムに登録していく。

●お問い合わせ先

高知県産業振興推進部計画推進課（地域担当）

電 話 088-823-9334

FAX 088-823-9255

メール 120801@ken.pref.kochi.lg.jp